



Masao Horiba Awards 堀場雅夫賞

2025年 対象分野

次世代医療に貢献する分析・計測技術

堀場雅夫賞は「分析・計測」技術を対象として、2003年に設立されました。物質の組成や性質を解明すること、さまざまな現象の意味や影響を把握すること — それはまさに科学の第一歩であり、科学技術や産業発展のための基本的アプローチです。それらのさらなる探究や革新のため、分析・計測技術は必要不可欠なものです。本賞は、科学技術を支える分析・計測技術の重要性とともに、画期的でユニークな研究をされている研究者・技術者の功績を世に知らしめたいとの創設者 堀場雅夫のおもいを受け継いでいます。本賞の受賞が研究者・技術者の糧となり、今後の研究活動を支える一助になればと願っています。皆様からのご応募お待ちしております。

堀場雅夫賞アワードディレクター
株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼グループCEO
堀場 厚

● 対象分野

1. 次世代医療に貢献する細胞や生命分子の新たな分析・計測技術
 - 1) 細胞治療で求められる新たな分析技術
 - 2) 免疫機能に関する新たな計測技術
 - 3) 疾患の検出に関する分析・計測技術※本対象分野には生理検査を含めず、検体検査を対象とします。
2. バイオ医薬品の開発・生産のプロセスに貢献する細胞や生命分子関連の新たな分析・計測技術
 - 1) バイオ医薬品の開発に求められる評価技術
 - 2) 製造工程で求められる品質管理技術および製造管理技術

● 応募者資格

大学、公的試験機関に所属し、上記分野の研究・開発に従事し、以下のいずれかに該当する、研究者・技術者。

- ・上記対象分野において、学術上、技術上の優れた発見、発明を成すことが期待されていること。
- ・上記対象分野において、学術上、技術上の重要な課題の解決が期待されていること。

賞の目的に鑑み、受賞者は応募及び受賞の時点で私企業に所属していないことを前提とします。
なお、年齢条項は設けておりませんが、賞の趣旨に則り、応募者の実績と将来性を重視した審査を行います。

● 表彰内容

2025年10月17日(金)に京都大学吉田キャンパスにおいて挙げる授賞式にて、本賞の授与ならびに副賞の贈呈を執り行うとともに、副賞として、200万円を授与します(初年度に100万円、次年度100万円)。

なお、本賞および副賞の受賞は、応募研究を公表できることを条件とします。

※授賞式会場の詳細は後日通知。

● 応募要領

2025年3月上旬に本賞ホームページにて公開予定。
<https://www.mh-award.org/>



● 応募期間・選考方法

2025年3月3日(月)～5月12日(月)

※期日までに書類データ(PDF)を専用フォームよりご提出ください。

● 2025堀場雅夫賞 審査委員会(敬称略、順不同)

審査委員長	末松 誠	公益財団法人実中研 所長/慶應義塾大学 名誉教授
審査委員	濱村 美砂子	アレクシオンファーマ合同会社 社長
	矢富 裕	国際医療福祉大学大学院 大学院長 教授
海外審査委員	Alan Ryder	Professor, School of Natural Sciences, University of Galway
	Catherine Alix-Panabières	Professor, Faculty of Medicine, University of Montpellier
社内審査委員	吉岡 和憲	株式会社堀場製作所 バイオヘルスケア本部 メディカルソリューション部 部長
	横川 昭徳	株式会社堀場製作所 バイオヘルスケア本部 ライフサイエンスソリューション部 部長
実行委員長	足立 正之	株式会社堀場製作所 代表取締役社長
副実行委員長	中村 博司	株式会社堀場製作所 執行役員 CTO

いまだ記憶に新しい新型コロナウイルス感染症COVID-19の世界的対策において、メッセンジャーRNAワクチンの実用化とその拡大などにより感染症予防が飛躍的に進歩しました。また、PCR検査や抗原検査の急速な普及により感染有無の判定が容易にできるようになりました。その一方でワクチンの供給能力不足や治療薬開発の難しさが顕在化し、検査や計測の重要性があらためて認識されました。

ポストコロナの現在、世界各国でバイオ医薬品とワクチンの両方に使用可能なデュアルユースの生産拠点が整備されています。平時は次世代医療の要となる細胞・遺伝子治療薬や抗体医薬品などのバイオ医薬品を生産し、感染症パンデミックの発生時には迅速なワクチン生産が可能となる体制が整えられようとしています。研究開発への投資も積極的に進められており、国が総力を挙げて、バイオ医薬品やワクチンの開発から生産までを支援しています。

この社会環境のもと、分析・計測技術に対しては、遺伝子改変された細胞の安全性や有効性を評価する方法や、薬剤投与の要否を判断するために免疫機能を確認する方法などの基礎研究が求められています。加えて、大型機器や専門の訓練を必要としない簡便な検査、迅速・正確な診断を実現する分析・計測技術も重要となります。また、バイオ医薬品の開発段階から品質を作りこむ評価技術の開発や、細胞を培養して得られた生成物や培地成分などをモニタリングする品質・製造管理技術を確立するための応用研究および生産プロセス開発も必要とされています。これらの研究開発には、「細胞」「生命分子」「培養環境」を新たな手法で分析・計測することが不可欠です。

このような背景から、2025堀場雅夫賞の主題を『次世代医療に貢献する分析・計測技術』とし、中でも次世代医療に貢献する細胞や生命分子の新たな分析・計測技術(基礎研究)と、バイオ医薬品の開発・生産プロセスに貢献する細胞や生命分子関連の新たな分析・計測技術(応用研究および生産プロセス開発)を募集します。なお、純粋な治療法、純粋な新薬の開発など、分析・計測技術を主体としない研究業績は対象となりません。人々の健康と安全・安心に寄与する分析・計測技術の発展に意欲的に取り組む国内外の研究者からの応募を歓迎します。

2025堀場雅夫賞実行委員長
株式会社堀場製作所 代表取締役社長
足立 正之



2024堀場雅夫賞 授賞式

堀場雅夫賞についてのお問い合わせ先

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 株式会社堀場製作所内 堀場雅夫賞事務局
TEL: 075-325-5110 E-mail: info@mh-award.org URL <https://www.mh-award.org/>